

# バリューチェーンにおける取り組み

YKK AP は、YKK 精神「善の巡環」とパーパスをベースに、サステナビリティの視点で経営を行っています。モノづくりのそれぞれの活動の中で付加価値を生み出し、それを支える基盤においても各種課題に積極的に対応することで、社会課題解決やSDGsの達成に貢献し、事業を通して社会を幸せにする会社でありたいと考えています。

- YKK精神  
「善の巡環」  
P4
- パーパス  
P5

## 研究・開発・検証

### 3つの技術施設と中央試験所

YKK APのモノづくりプロセスの基盤である開発、評価・検証、技術提案、情報発信のサイクルを担うのが富山県黒部市にある「YKK AP R&Dセンター」「価値検証センター」「パートナーズサポートスタジオ」です。YKK AP R&Dセンターは、技術・知見の集積地であり、高品質な商品を開発しています。価値検証センターは生活者モニターによる「生活者検証」、自然環境を再現した「実環境検証」等を実施しています。そして、プロユーザーの課題に対し、技術に基づく提案をするのがパートナーズサポートスタジオです。さらに、国際基準を満たしたJNLA試験事業者である「中央試験所」は厳格な試験で商品品質の保証体制を強化しています。

### グローバルR&D体制

YKK APはグローバルな開発・研究体制も強化して

います。日本の他にドイツ、インドネシアにもR&Dセンターを置き、温暖地域の日本、寒冷地域のドイツ、蒸暑地域のインドネシアと、各地域で調査・研究を行っています。その情報を蓄積・共有し、それぞれの地域に最適な商品開発につなげています。

YKK AP R&Dセンター（ドイツ）では省エネ建築や、建材において先進的な欧州の技術を調査・研究し、機能部品や開口部断熱、フレームやガラスなどによる開口部の高付加価値化を推進しています。

YKK AP R&Dセンター（インドネシア）では、蒸暑地域に適した省エネ構法や開口部の調査・研究・開発に加え、パッシブデザイン（自然エネルギーを活用した快適な住環境の設計）の研究に取り組んでいます。「中所得者のための省エネ集合住宅」をテーマにした産官学の共同研究プロジェクトでは、効果的に通風を得られる窓や玄関ドアなどを使用した際の効果測

- 知的資本  
P17



大開口商品「WIDE VIEW SLIDING」(NEXSTAシリーズ)

定を行っています。また大開口商品へのニーズに対応し、高級注文住宅向け商品の「NEXSTA」シリーズにおいて2022年10月に発売したのが、「WIDE VIEW SLIDING」です。意匠性や部品構造など日本における技術開発の知見を活かしながら、採用エリアで求められる必要性能を担保しています。

### 技術研究本部の取り組み

グローバル視点での技術・研究開発を担うのが2023年度に発足した技術研究本部です。アルミリサイクル率100%実現に向けたりサイクル技術の開発や、カーボンニュートラルに向けた有機材料の開発など新技術や新材料の技術・研究開発に取り組んでいます。また、超高断熱なガラスの技術構築など既存領域の技術深耕を行っています。さらに、外部研究機関との共同研究により人材育成・交流を図っていきます。

- YKKグループ調達方針、YKK APグリーン調達基本方針、パートナーシップ構築宣言の詳細はウェブサイトでご紹介しています。  
<https://www.ykkap.co.jp/company/jp/sustainability/procurement/>

## 資材調達

### 調達方針とCSR調達

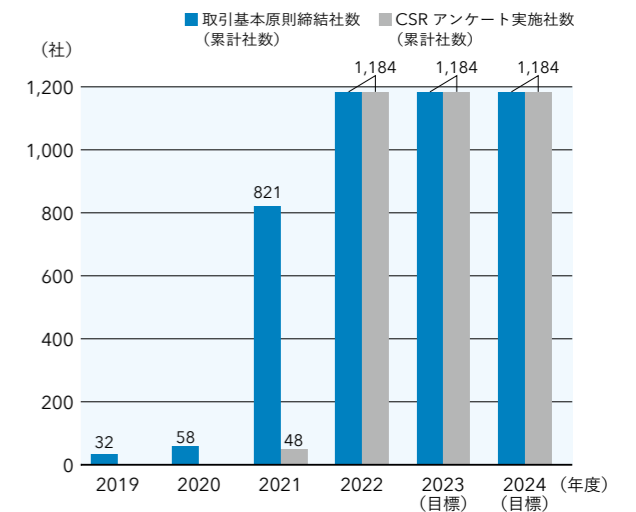
YKKグループでは、組織統治や人権からなる調達方針を掲げています。この方針に基づくCSR調達を行うため、法令遵守や公正な取引を明示した「取引基本原則」を定めました。2022年度までに主要取引先1,184社と締結し、2024年度までの目標締結社数を達成しました。また、取り組み状況を確認するためのCSRアンケートを2022年度はすべての締結先で実施、今後は大口取引先および特に重要な材料・部品を取り扱う取引先を対象に実施していきます。

また、YKK APは「YKK APグリーン調達基本方針」に則り、環境に配慮した資材を優先購入する「グリーン調達」も推進しています。

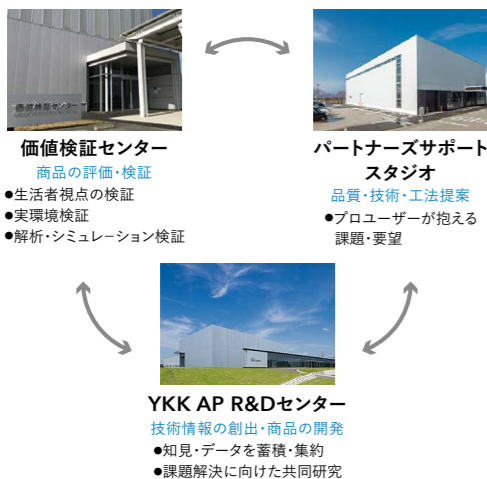
### パートナーシップ構築宣言

当社はYKK精神、経営理念、そしてパーパスに基づき、社会的責任を果たすため、サプライチェーンにおけるお取引先や事業者とのパートナーシップを強化しています。そして共存共栄の関係を構築することを目的に、2022年6月に「パートナーシップ構築宣言」を策定・公表しました。

### CSR調達の推進目標



### 3つの技術施設



### グローバルR&D体制



## 製造・物流

### 一貫生産体制

YKK APは自社一貫生産体制の礎を築いたYKK創業者の吉田忠雄の精神を受け継ぎ、モノづくりのすべての工程を、自社の国内外の製造拠点で一貫して行っています。

現在は、開発・製造部門と、商品を生産する専用設備の開発・製造を担う工機技術部がシームレスかつ迅速に連携することで、技術競争力の一層の強化を図っています。また、YKK APアメリカ社で建設している住宅用樹脂窓工場では、日本の樹脂窓製造ライン「APWライン」で採用している省人化ラインの導入を進めており、日本で培った技術を海外にも展開しています。今後は、スマートファクトリー化を推進し、DXによる生産性向上を目指していきます。

### 安全衛生

モノづくりを担う社員が安全かつ健康に働ける職場づくりも、重要なテーマです。暑熱対策のために空調設備・空調服を導入し、食堂やトイレなどの環境を整備するなど、ストレスフリーで働きがいのある職場づくりを進めています。安全性を高めるために、3年に1回の「定期設備機械安全審査」を継続して行い、設備の本質的な安全化に努めています。また2021年度から、不安全行動を撲滅するため、職場での「近道行動」「面倒な作業」を抽出し、改善を継続しています。2023年度からは職場リーダーへの危険予知の落とし込み教育を実施し、安全への意識付けをより一層強化していきます。



→ 一貫生産体制 P18

→ YKK精神、経営理念、パーパス P4-5

→ スマートファクトリー P41

### ロジスティクス

2024年4月よりトラックドライバーにおける時間外労働の上限が制限されることで発生する「2024年問題」。YKK APでは2016年度から配送効率を高める新パレットの開発に着手。2019年度からは国土交通省が推進する「ホワイト物流」運動に賛同し、物流効率化や生産性向上を進め、持続可能な物流の実現を目指しています。

具体的には、荷物をパレットやコンテナなどユニット単位で効率的に運ぶ「ユニットロード」という仕組みを導入し、ドライバーの経験や勘に頼らない効率的な荷積みや荷降ろしを実現しています。加えて、トラックの荷台に効率良くパレットを積むことを目的とした独自システム「Y-Caps(ワイキャプス)」で商品やパレットの最適な組み合わせを導き出し、トラックの積載効率向上や最適な配車管理を可能にしました。さらに、他社との共同輸送などを通じて持続可能な物流を追求し、さまざまな物流工程に伴う作業時間を削減し、ドライバーの拘束時間短縮につなげています。



独自システム「Y-Caps」の導入で推進しているユニットロード

## 販売

### BtoCとBtoBの取り組み

エンドユーザーであるお客様とプロユーザー向けに、ショールームやWEBコンテンツを通じて、安全・安心で健康・快適な家づくりについての情報を提供しています。さらに2002年からTOTO株式会社、大建工業株式会社と「TDYアライアンス」としてリモデル分野で業務提携を行っており、全国13カ所のコラボレーションショールームやフェア・イベント、共同WEBサイトを通じてリモデルの情報発信をしています。

### SE(セールスエンジニア)

提案力の大きな強みとなっているのが、営業とともに技術提案を行うSEです。商品開発本部 住宅商品開発部に所属し、全国10拠点49名体制で活動しています。住宅全体の知識に基づく提案で、新築はもちろんストック住宅市場の活性化などに対応します。また、積雪地域におけるシャッター価値の検証等、エリア特性に応じて、プロユーザーの課題解決に貢献する情報提供も行っています。



落雪を再現したシャッター側圧検証

→ お客様満足度向上の取り組みの詳細はサステナビリティデータブックでご紹介しています。  
<https://www.ykkap.co.jp/company/jp/sustainability/data/social/>



埼玉窓工場

## 施工

### FE(フィールドエンジニア)とFTC

生産本部 生産技術部内にあるFTC(フィールドテクニカルセンター)は機能流通店の競争力強化に向けた技術支援や、商品の品質確保のための組立、配送等の研修指導を行っています。そのFTCに所属し、施工現場の最前線で活躍する技術者であるFEは、全国14拠点で39名が活動しています。現在FTCではFE向けの教育プログラムの拡充を進め、施工現場からの改善要望への対応や、リフォーム商品の施工研修強化により拡販支援を行うなど、商品力と技術力の向上に貢献しています。



社内におけるFE施工研修の様子

### 国内外における施工性向上のための共創

YKK APは、高度な施工技術を持つサッシ・カーテントウォール施工専門業者から構成される「YKK APグループ施工協力会」と共同で、2013年から「施工技能修練伝承塾」を開設し、技能継承と人材育成に取り組んでいます。本塾では最短6年で施工技能者を育成しており、2022年度までに延べ311名の若手技能者が受講しました。また、海外では中国、台湾、インドネシアで施工研修所の設置や施工研修の実施などを通じて、現地の施工技能者の技術向上を支えています。



台湾での現場施工研修

### 施工の省力化

施工技能者の高齢化が進み、現場における負荷が増大している中で、FTCでは、施工治具の開発運用による施工の省力化にも取り組んでいます。「折板荷上げローラー」は、カーポットの屋根ふき材である折板の荷上げ作業をサポート。他にも、高い集塵能力で施工技能者の安全や環境を向上させる「ダイヤモンドカッター用集塵カバー」、トラックの積み降ろしをサポートする「簡易ハンドクレーン」などを開発しています。



「ダイヤモンドカッター用集塵カバー」(右上)を活用した施工風景

## 商品使用

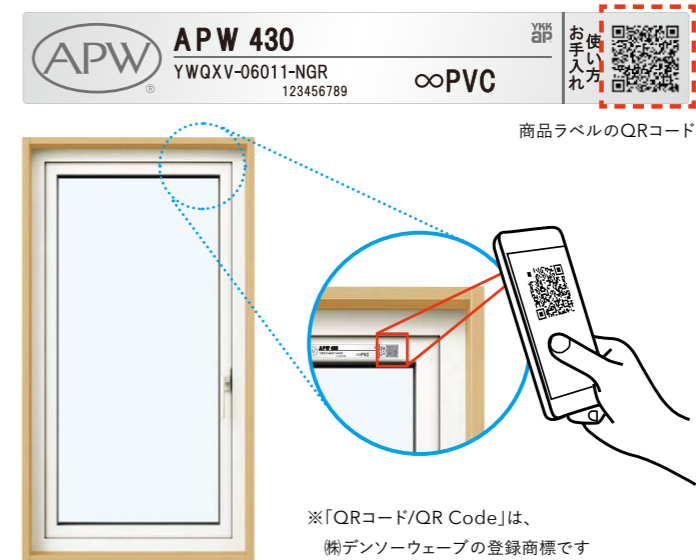
### お客様への情報提供

YKK APは製品安全基本方針に則り、お客様が安全かつ安心して商品をご使用いただくための情報発信に取り組んでいます。紙媒体でのマニュアル以外にも、QRコードを商品ラベルに印字し、お客様が使い方・お手入れ方法やトレーサビリティ情報などに簡単にアクセスできるようにしています。

また、YKK AP公式アプリ「APポケナビ」では、商品の使用方法やお手入れ方法以外にも台風・大雨など災害への備えに関する情報などをプッシュ配信・提供しています。



「APポケナビ」アプリを通じてサポート情報を発信



※「QRコード/QR Code」は、(株)デンソーウェーブの登録商標です

### メンテナンス対応

商品を長く安全にご使用いただくため、メンテナンスへの対応品質の向上と均一化を目指しています。住宅本部 メンテナンス事業推進部を中心に各地のメンテナンスセンターが情報を共有し取り組んでいます。また、「YKK APメンテナンス認定技能士協力会」を立ち上げて、優れた技術を持つ施工技能者を認定し、協力会にご加入いただくことで、技術研修などを実施してメンテナンスへの対応力の強化につなげています。さらに、デジタルツールを使用した電装商品のメンテナンスにも取り組んでいます。

※認定技能士数 541名(2023年6月1日現在)



デジタルツールを使用した電装商品のメンテナンス